



年に15日間だけ飾られる絵図

東禅寺の涅槃図が公開

2月1日から15日間、東禅寺（藤岡孝道住職・辺田見）に釈迦涅槃図が飾られました。東禅寺の涅槃図は延宝6年（1678年）に僧雪溪の手で描かれたもので、大きさは278^{センチ}×219^{センチ}。お釈迦様の命日である2月15日に行われる涅槃会の法要にあわせ、お釈迦様を供養するため、年に一回本堂で飾られています。涅槃図の公開に合わせて、本堂で句会を開いている春菊句会の会員・緒方宣子さんは「本当にすごく立派な涅槃図だと思います。見てると毎年違った発見があり、句を詠むことも楽しく勉強になります」と話しました。

◀東禅寺所蔵の釈迦涅槃図

涅槃図とは、2月15日の満月の日、お釈迦様がインドのニレンゼン川のほとりにある沙羅双樹の木の間に、頭を北側に横たわり、入滅（死亡）する様子を描いたもの。弟子や信者、仏菩薩やさまざまな動物たちが、お釈迦様の死を嘆き悲しんでいる。繊細に描きこまれた人物や動物たち、鮮やかな色彩は見る人を惹きつける。

伝統行事「井手祭り」

～水の恵みに感謝する～

上野・田代の各地区で伝統行事の井手祭りが行われました。井手祭りは元禄井手ができた江戸時代から続いており、毎年2月21日、カップの形を模したと伝えられる「ワラヅト」に、にぎり飯やイリコを入れたものと、竹筒12本に入れたお神酒を水の取り入れ口に供え、無病息災と米の収穫を祈願します。栗永栄一さん（上野）は「1年の行事として毎年行っている。伝統としてこれからも続けていきたい。子ども達に体験学習で教えていければと思う」と話しました。



ワラを編んだ筒状の飾り「ワラヅト」を作っている様子



御船地区衛生施設組合に展示された作品

地球にやさしいエネルギーを啓発

御船地区衛生施設組合でポスター展示

御船地区衛生施設組合では、組合管内（御船町、甲佐町、益城町、嘉島町）の小学4年生から中学生までを対象に、地球温暖化現象を通して地球にやさしいエネルギーの利用を呼び掛けるポスターを、毎年募集しています。今年度は、75点の応募があり、最優秀賞1点、特選3点などが選ばれました。特選に選ばれた鈴木彩花さん（木倉小5年）は、「たくさんのエネルギーを太陽や風の力で作ってほしい」と思いを込めて書きました。特選に選ばれてうれしいです」と受賞を喜びました。



郷土の誇りをタスキに込めて

第41回都市対抗熊日駅伝大会

2月8日、天草市役所スタート・びづれす熊日会館（熊本市）までの14区間・106.1^{キロ}を19郡市の代表選手が走る、第41回都市対抗熊日駅伝大会が開催されました。上益城郡代表として御船町から、鴨池信太郎選手（御船中3年）・高田凜太郎選手（九州学院高校2年）・増田晃大選手（開新高校2年）・松永匡史選手（一般）・吉野将悟選手（一般）が選ばれ、4人が出場しました。昨年11位の上益城郡は、2区の高田選手が区間2位の走りを見せ、昨年より順位を上げ、9位でゴール。熊本市が、7年ぶりの7度目の優勝を果たしました。

1_ 区間2位で力走する高田凜太郎選手 2_ 体調不良のなかタスキをつないだ吉野将悟選手 3_ 阿蘇郡市と競り合う増田晃大選手 4_ 嘉島町を走る鴨池信太郎選手



大会記録（14区間・106.1^{キロ}） ※敬称略

総合	1位	熊本市	(5時間24分37秒)
	2位	宇城市	(5時間29分53秒)
	3位	球磨郡	(5時間32分48秒)
	9位	上益城郡	(5時間38分45秒)
個人	3区	高田凜太郎	(11.7 ^{キロ} ・34分53秒) 2位
	8区	吉野 将悟	(10.2 ^{キロ} ・33分29秒) 17位
	10区	増田 晃大	(7.3 ^{キロ} ・23分05秒) 7位
	13区	鴨池信太郎	(4.7 ^{キロ} ・14分58秒) 13位

愛情たっぷりふれあい弁当

民生委員・児童委員ふれあい弁当

2月6日、町民生委員・児童委員協議会（川口勝行会長、46人）が毎年行っている、手作りの山菜おこわ弁当「ふれあい弁当」作りが行われました。今年で16回目。今年は408個の弁当を作り、町内に住む75歳以上で一人暮らしの家庭に委員が配達しました。弁当を受け取った赤星弓子さん（辺田見）は「1年に1回のふれあい弁当。いつも楽しみに待っています。今日はお昼ご飯を食べずに待っていました。来年も楽しみです」と、うれしそうに笑顔で弁当を受け取りました。



地元の民生委員から弁当を受け取る赤星さん



日本とアメリカの文化の違いについて学ぶ児童たち

夏休みの宿題がないって本当？

木倉小5、6年生が異文化について学ぶ

2月9日、木倉小学校（大脇為久校長、121人）5、6年生を対象に、九州ルーテル学院大准教授のパトリック・ベンケイさんの授業がありました。授業は、熊本日米協会の嶋田一朗さん（木倉）の提案で初めての開催。「夏休みの宿題がないって本当ですか」など、文化の違いについてベンケイさんに質問しました。ベンケイさんからは「早いうちから外国語や異文化を勉強してほしい。また、英語だけでなく、同じアジアの言葉や文化を勉強し、海外へ行って友達をつくり交流してほしい」とアドバイスしました。